

概要

緑化や透水性舗装・雨水貯留浸透施設の実施・整備などに取り組むことで、緑地の増加や健全な水循環の回復による気候変動対策や生物多様性の回復、ヒートアイランド現象の緩和等の環境面の効果だけでなく、地域経済の活性化や防災・減災、良好な景観形成などの経済・社会面も向上し、グリーンインフラが支える住み心地のよいまちになっています。

市民が自宅の緑化に取り組んでいます。

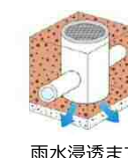
市民が公園や街路樹の管理に取り組んでいます。

指標

市がシンボル並木の育成管理をしています。

事業者が開発に伴う雨水浸透ますの設置をしています。

雨水浸透ますには、雨水を地中にしみ込ませることで、豪雨時に下水や河川がまちにあふれないようにしたり、地下水を増やしたりする効果があります。



雨水浸透ます

事業者が建物やオープンスペースを緑被化しています。

事業者がオープンガーデンに取り組み、市民と交流しています。

イメージ図

市が透水性舗装や雨水貯留浸透施設の実施・整備をしています。

市が積極的に公有地を緑化しています。

市民が水辺で撮った生きものの写真をSNSに投稿しています。

市が雨水や地下水等を利用して水辺空間を整備しています。

本市はもともと都心部に大きな河川がなく、水に接しにくい都市ですが、雨水や地下水（湧水）などを河川や親水空間の水源として活用し、魅力的な水辺空間があるまちづくりを進めていきます。

ベネフィット

環境	経済	社会
緑の増加 健全な水循環の回復 生物多様性の回復 ヒートアイランド現象の緩和 など	環境ビジネスの活性化 地域経済の活性化 など	都市魅力・持続可能性の向上 住みやすさ・快適性の向上 良好な景観形成 防災・減災 健康増進 など

重点プロジェクトⅠ

官民連携プラットフォーム(仮称)によるグリーンインフラの推進

官民連携のプラットフォームを設立し、市、事業者、大学、市民等、多様な主体の積極的な参画及び連携により、幅広い視点からグリーンインフラについて一緒に考えることで、取り組みを進めるヒントや課題解決への道筋を得るとともに、取り組みを広く普及・促進します。

概要

気候変動への対策として世界的に温室効果ガス排出実質ゼロへの転換が求められています。

本市においても、住宅・建築物の低炭素化、再生可能エネルギー・水素エネルギーの利活用の推進を図るとともに、市民・事業者のライフスタイル・ビジネススタイルの転換を促進するなど、さらなる削減を目指します。

市が誰もがアクセスできるよう公共交通機関のバリアフリー化を促進しています。

市民が IoT などが活用された家電を使用しています。

IoT（アイオーティー）は Internet of Things の略称で、モノに通信機能を持たせることで、自動認識や、遠隔計測などを行うことです。例えば、外出先からエアコンを操作することができ、消し忘れの防止などの省エネにもなります。

事業者が ZEV を社用車にしています。

ZEV（ゼブ）とは、Zero Emission Vehicle（ゼロ・エミッション・ビークル）の略称で、燃料電池自動車（FCV）や、電気自動車（EV）といった、走行時に CO₂ や大気汚染物質を一切出さない、環境にやさしい自動車のことです。

指標

事業者が少ないエネルギーでものづくりを行っています。

市が AI などを活用して、環境情報を発信しています。

市が積極的に ZEV を導入しています。

市民が太陽光発電設備や蓄電池が導入された ZEH に住んでいます。

イメージ図

ベネフィット

環境	経済	社会
地球温暖化の防止 大気汚染の緩和 など	環境ビジネスの活性化 地域経済の活性化 など	都市魅力・持続可能性の向上 住みやすさ・快適性の向上 健康増進 など

事業者がビルを ZEB にしています。

ZEB（ゼブ）とは、Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、快適な室内環境を実現しながら、省エネによって使うエネルギーをへらし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにすることができる建物のことです。

重点プロジェクトⅡ

概要

市民がグリーンな製品・サービスを積極的に購入・選択することで、そうした製品・サービスの供給拡大が促されます。同時に、需要も拡大されることにより、環境ビジネスが活性化し、環境負荷の低減や経済が好循環しているまちを目指します。

市民が徹底して3Rに取り組んでいます。

事業者が環境に配慮した事業を行い、ESG投資を呼び込んでいます。

ESG投資は、従来の財務情報だけでなく、環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance）要素も考慮した投資のことです。

市がグリーンファイナンスを活用して環境対策を行っています。

市民が環境配慮事業・事業者に寄付や投資をしています。

指標

市が環境配慮型企业・商品の情報発信をしています。

事業者が地元農産物を使用した土産物を販売して名古屋の魅力を発信しています。

事業者がフードバンクを支援しています。

事業者が公園・街路花壇のスポンサーになっています。

イメージ図

ベネフィット

環境	経済	社会
様々な環境問題の解決 環境配慮意識の向上 など	ESG投資の活性化 環境ビジネスの活性化 地域経済の活性化 など	都市魅力・持続可能性の向上 住みやすさ・快適性の向上 など

市民がフェアトレード商品や、地元でとれたもの・旬のものを積極的に購入しています。

フェアトレードとは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、生産者や労働者の生活改善と自立や、生産性優先のため農薬の大量使用による土壌汚染や健康被害、森林伐採による環境破壊などを防ぐ取り組みです。

重点プロジェクトⅢ グリーンファイナンスの推進

グリーンボンドや環境版ソーシャルインパクトボンド、クラウドファンディング等の活用により、資金が環境対策に向かって活用される流れを創出すること、市民または事業者の環境配慮意識の醸成などを目指します。

